

2023年度 基礎配属(組織再生学)

基礎配属は、自ら勉強して自らの頭で考えることを学ぶ機会と、私は考えています。知識や技術を覚えることが目的ではありません。医学は日々進歩しています。今の知識が、数年後、卒業後も通用するとは限りません。その時、その時点での知識の更新が必要になります。最新の医学情報は、英語で発信されます。その情報をどのように入手し、正しく理解する方法を身に付ける必要があります。現在、AIの機能が向上し、英文の翻訳も瞬時にできますが、その訳文が原文の意味を正確に表しているかどうかを判断するのはあなた自身です。AIが翻訳したから正しいなどという言い訳は通用するはずがありません。間違った解釈は、患者の死に繋がるかもしれません。病気の診断も研究も自分の責任で行わなければならないのが医師・医学研究者になるということです。

英語論文を読むことは大変で時間も掛かります。しかしながら、苦勞して成し遂げた達成感は自信に繋がり、経験は身につき生涯残ります。じっくり勉強する時間は、今後多分無いでしょう。この貴重な4週間を有意義な時間にするか否かは己次第です。私達はお手伝いするだけです。上手く利用してください。

期間： 11月20日(月) ～ 12月15日(金)

授業時間： (原則)10:00～12:00 及び 13:30～15:30

16日(月)は、共通講義終了後、11時に教育研究棟8階の教室廊下に集合してください。

- ◆ 遵守事項： 遅刻は原則認めない。
休む時、遅れる時は事前に必ず連絡すること
三高教授 tmitaka@ 市戸講師 nichii@ 石上助教 kishigami@ にメールするか、友人に伝言すること
- ◆ 用意するもの： 内履き(外で履かないもの： 研究所のものを使っても良い。8階の教室入り口の下駄箱にサンダルがあるから、それを使っても構わない)、メモ帳

授業予定

- ◇ 講義等は、原則教育研究棟9階(C906)会議室で行います。
- ◇ 9階会議室は、基礎配属の期間、昼食時や予約の入っていない時間(入り口のカレンダー参照)は使用してもかまいません。飲食の場合、ゴミはエレベーター前のゴミ箱に入れてください(分別が必要)。
- 講義 (全員) 予定で内容や時間の変更もあり得ます。

- ① 肝臓の構造と機能 (三高)
- ② 肝疾患 (三高)
- ③ 肝臓の再生医学 (三高)
- ④ 再生医療 (三高)
- ⑤ 肝臓の発生と組織構築_(谷水)
- ⑥ 組織幹細胞と細胞の分化可塑性 (谷水)
- ⑦ 組織工学 (市戸)
- ⑧ 細胞移植 (市戸)
- ⑨ 胆道癌診療の現状と研究課題 (石上)
- ⑩ 腸内環境から見た肝胆道疾患 (石上)

- **論文講読（全員）:**

全文読むことが前提ではあるが、自分の担当部分（事前に割り振りする）は必ずやってくること。その場で読むことは不可能なので、事前学習が必要です。訳を紙に書いてくるのが好ましい。書くと過ちに気付きやすい（休まなければならない時に友人にお願いするのに都合が良い）。翻訳ソフトを参考にすることは構わないが、点数をとることが目的ではなく、自分で英文を読んで研究論文とはどのようなものか、体験することが本授業の主たる目的であることをよく理解してください。下手な訳でも気にしませんし、評価には関係しません。文の意味がよく分からないことが多いと思うので、遠慮なく質問してください。

演習

「それぞれが担当した論文」を元に、他の学生に対して講義を最終日に行ってもらいます。それぞれが、担当する臓器・組織の「発生・再生・再生医療」に関する内容でレポートを作成し、それを他の学生に理解してもらえるようにまとめて、スライドで最終日に発表することになります。

担当論文：論文は授業が始まったら渡します。

参考資料として、各臓器組織に関する Review article を選びました。その内容に沿ってまとめて下さい。唯、全訳しても内容を理解するのは難しいので、参考論文や本を読むなどして勉強してください。自ら理解出来ていないことを他人に教えることは出来ません。図表をふんだんに使って分かりやすく説明することを心がけてください。

評価:

- 基本的に出席点です。それと最終日に行う発表内容とレポートが対象となります。
- 抄読時の訳の巧拙については対象外ですが、予習してこないのは欠席と同等と見做します。休む場合は、事前に友人に訳文を渡して代わりに発表して貰う事。
- 発表は、レポート内容の説明です。レポートを作成し、その内容を他の学生が理解出来るように発表スライドを作成する、と考えてください。